

12月号
469号

人として

筑後市社会福祉協議会 / 広報

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに ... それが社会福祉協議会の目標です。

小学4年生 福祉の授業

趣味や余暇を楽しむのは みんなと同じ ただ、やり方が違うだけ

「共に過ごすことが、共生の第一歩」



▶「電動車イスって？」
子どもたちは興味津々。
「どこが動くのかな？」



▶パラリンピックの正
式種目でもある「ボツ
チャ」を体験！



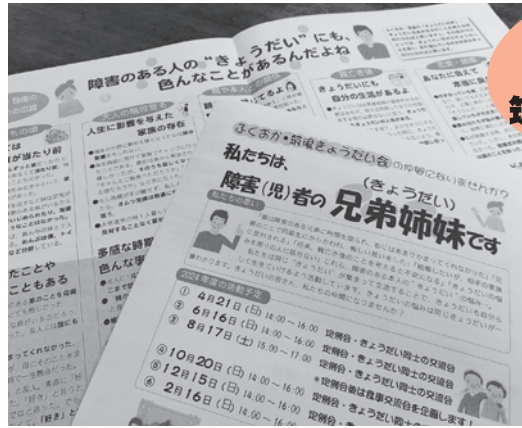
▶実際に体験してみよ
う！車イスに乗る体験・
押す体験

今年も小学4年生に向けた福祉の授業が各小学校で行われています。市内の小学校では車イス・手話・点字体験に加え、今年度から「*でこぼこ体験」が実施されています。11月1日に下妻小学校で行なわれた車イス体験では、車イスユーザーの長本七海さんが、普段の暮らしについてお話されました。「車イス生活では不便なこともあります。例えば、お店では高い棚の商品は手が届きません。そんな時はお店の人に助けてもらっています。このように、周りの人たちの理解が

あれば、困りません」
「好きな歌手のコンサートに行ったり、スポーツを楽しんだり。趣味や余暇を楽しむのは皆さんと同じです。違うのはやり方だけです」と長本さん。
また、授業の途中には、子どもたちとボツチャ体験も。「一緒に楽しみながら、共に過ごすことが、共生の第一歩かもしれませんね」と話されました。
*でこぼこ体験…
見た目では分かりにくい生きづらさを、体験を通じて学ぶプログラム。

この広報紙は、点訳・音訳の広報も発行しています。希望の際は気軽にお尋ねください。

★活動紹介★
ふくおか・
筑後きょうだい会



孤立感、たくさんの我慢、いじめ・
安心して本音を話せる場所で
ありたい

本音を話せない癖がついた
でも、きょうだい会だと
自分の言葉で話せる

「他では姉のことは話せない。家族
のことを話せなかった経験から、本
音を話さない癖がついてしまってい
る。だけどもきょうだい会だと、自分
の言葉で本音を話せる。不思議な感
覚だ」
(姉に知的障害)

ふくおか・筑後きょうだい会は、
障害のある人の兄弟姉妹(「きょう
だい」)の会です。きょうだいの中
には、親亡き後のプレッシャーを感じ
ていたり、なかなか本音を話せず悩
みを抱え込んでいる人もいます。
2か月に1回のペースで開かれ
る同会定例会では、他では話せない
きょうだいの本音がたくさん話さ
れます。
様々なきょうだいの思いを紹介
します。

「子どもの頃、弟のことでクラスメ
イトからいじめられていた。でも親
には言えなかった。言えば親が困る
ことは分かっていた」(弟に知的障害)
「幼い頃から、私の姉は何か違うと
思っていた。姉のことを同級生に言
いたくない。特に障害があることは知
られたくない。周りに話しかけないで
オーラを出していた」(姉に知的障害)

熊本地震に学ぶ
—手助けが必要な人とその家族のために—



10月17日(木)、筑后市手をつなぐ育成会主
催の学習会が開かれました。

講師の西恵美さん(熊本市手をつなぐ育成会
会長)も、熊本地震の被災者です。「避難所で、
知的障害のある我が子への『差別』や『偏見の
目』を避けたかった」という本音が話されまし
た。実際、避難所を利用せず、自宅や車内での
生活を余儀なくされたり、支援物資の入手が困
難だったケースも紹介されました。

だからこそ、「知的障害や発達障害について、
平常時に正しく啓発していくことが大切」と話
されました。

ボランティア同士もつながろう
—下妻校区地域デイボランティア交流会—



10月23日(水)、19回目の下妻校区地域デ
イサービスボランティア交流会が開かれまし
た(主催:下妻校区福祉会)。

高齢者の居場所の1つとして多くの地域で取
り組まれている地域デイサービス。この日は各
行政区から持ちネタ(=レクリエーション)の
披露が行なわれ、楽しみながら学ぶ時間とな
りました。

「ボランティア同士も仲良くなり、つなが
ることが大事」と同会会長。ボランティア同士の
交流・情報交換にもなり、今後の活動の糧とな
ったようです。

兄弟喧嘩をしたら、

理由に関係なく怒られる

「弟の行動に対して、イライラして、弟に当たることもあった。しかし、理由に関係なく、親はその行為を否定する。兄弟喧嘩をしても当たり前なのに、それはやっちゃダメなんだと違和感があった。不条理なことはたくさんあった」（弟に知的障害）

「親から弟の障害について説明を受けた記憶はない。直感的に理解していた。みんなとは違うのはわかってきた」（弟に知的障害）

色んな人の話を聴けて、

心境にプラスの変化が

「きょうだい会に参加するようになって、障害に関するテレビ番組等を見れるようになった。今まではメンタルが崩れそうになっていた。だけど、色んな人がいることが分かってきて、心境が変化している。たぶんプラスの変化だと思っ」（姉に知的障害）

「年齢を重ねる中で、家族のことを話せるようになっていった。家族関

ふくおか・筑後きょうだい会に

※障害のある人の兄弟姉妹の会です

入会しませんか？

次回定例会（会場 筑後市総合福祉センター）

● 12月15日（日）14:00～16:00（参加費100円）

問合せ ● ふくおか・筑後きょうだい会

MAIL chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

● 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969



係で悩んできた学生時代の経験が、社会人になって役立っている。もちろん、その心境になるまでには大変な苦労があったが」（弟に知的障害）

「きょうだい会は自己開示の場。それをきょうだい会以外の場で開示できるかが、これからの目標」（弟に知的障害）

きょうだい会では結論を出すわけではありません。それよりも大事なものは、安心して本音を話せる場の存在なのかもしれません。

ひとり親家庭を応援します！

★食料品等を無料で配布します！

食品等を配布します。必要な方はお気軽にお申込みください。なお、数に限りがあります。

事前申込が必要！

12月3日（火）12時～12月6日（金）17時の間にQRコードから読みとり申込みください。（期間内でも、定数に達し次第受付終了）



対象 平成14年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布日 12月10日（火）・11日（水）16時～18時

配布場所 筑後市総合福祉センター

問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969 mail info@chikugo-shakyo.or.jp

社会福祉協議会のしごとって？

—水田小学校2年生まち探検！—



11月19日（火）、水田小学校の2年生が授業の一環で、社会福祉協議会に来られました。「ここではどんな仕事をしているの？」という疑問に答える形で、4人の職員から、日頃の仕事を紹介しました。

また、職員からは「福祉は幸せという意味です。社協はみんなが幸せになるためにはどうすればいいかな？を考えるとこです。皆さんも困った時には『困った』と言っていいんですよ」と子どもたちに伝えました。

その後、「一番大変なことは何ですか？」など、たくさんの質問が出されました。

社会福祉事業資金寄付

★香典返し寄付の部★

田中 絹枝様 (故 正助様) 折地
 田中 恵美子様 (故 米田 文幸様) 久富
 富久 洋一朗様 (故 艶子様) 下富久
 江口 明様 (故 喜久子様) 一条
 平塚 貴紀様 (故 重生様) 二本松
 下田 一明様 (故 江崎 キヌ子様) 島田
 金子 利浩様 (故 利夫様) 長浜

★一般寄付の部★

○マルタ印刷様(大和) から現金の寄付がありました。

★計 一〇八、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

●預託の部(物品口座)

○小塩博文様(八女市) からみかんの寄付がありました。
 ○平塚貴紀様(二本松) から紙おむつの寄付がありました。
 ○ユーコーラッキー37筑後店様(長浜) からお菓子の寄付がありました。
 ○三角政義様(八女市) から玄米の寄付がありました。
 ○鈴木敦子様(川崎市) から玄米の寄付がありました。

ひきこもり家族相談会

◎と き: 12月19日(木) 13:00~16:00
 (毎月第3木曜日 13:00~16:00 実施)

◎ところ: 筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、12月12日(木)17時までにご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ
 TEL 52-3969 FAX 53-6677

【いずれも10月1日~10月31日まで】

○立山康弘様(和泉中) から野菜の寄付がありました。
 ○柴木清子様(長浜) からお米の寄付がありました。
 ○川口幸秀様からお米・紙オムツ・衣類の寄付がありました。
 ○後藤真一様(上原々南) から尿取りパットの寄付がありました。
 ○金子利浩様(長浜) 紙オムツの寄付がありました。
 ○匿名様(1件) から食品の寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野様(前津) から野菜の寄付がありました。
 ○(株)プレシア様(下北島) からお菓子の寄付がありました。

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる~むの12月の予定

と き 12月13日・27日(金)
 13:30~15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

MAIL info@chikugo-shakyo.or.jp

筑後市社協 LINE 公式アカウントが変更になります!

友達追加、受信設定を再度お願いします

12月よりLINE公式アカウントが変更となります。

これまで登録していただいていた方には、大変お手数をおかけしますが、再度友達追加・受信設定をしていただきますよう、お願いいたします。



事務局通信

「先生たちに知ってほしい吃音のこと」というリーフレットがあります。

吃音は、頭の中では分かっているのに、円滑に話せなかったり、スムーズに言葉が出てこない症状のことです。子どもの発症率は20人に1人とされています。

そのリーフレットには、「時間がかかっても、話し終えるまで待ちましょう」「話し方よりも、話の内容に注目しましょう」とありました。

ということは、話の途中で遮られたり、話し方をからかわれ悔しい思いをした吃音者が多いということでは…。

また紙面には、「周囲に吃音を受け入れてもらえるかの不安」「からかいや偏見への恐怖」という吃音者の声も紹介されていました。

つまりは、「言葉が出ない」ことよりも、周りとの関わりの中に生きづらさがあるということになります。

今秋、吃音の青年を実習で受け入れられました。彼にとって私は安心してもらえる人だっただろうか。問われているのは彼の吃音ではなく、「私」なのかもしれません。(善)

心配ごと相談

毎週木曜日、午後1時から午後4時まで、福祉センター相談室で行っています。秘密厳守で対応します。